

1 品種の概要

(1) 奈良県推奨品種

項目 早晩性	品種名	来歴 育成年	形態的特性				
			樹姿	株張	成葉・新葉の特性	芽立ち (新葉)	分枝数
早生	さやま かおり	やぶきた種実 生より選抜育 成 1971年	やや 直立	大	長楕円形、大型、肉 厚、濃緑色、やや光 沢を欠く、着葉角度 鋭角	芽数が多く、 芽重が大きい 着葉角度が鋭 角	多い
やや 早生	つゆひかり	静7131× あさつゆ 2000年	中間	大	楕円～長楕円、中 型、淡緑、光沢中、 着葉角度 中	芽数やや多、 摘芽長やや 長、百芽重や や大	
中 生	やぶきた	在来種より選 抜育成 1953年	やや 直立	中	長楕円形 やや大型 緑色 光沢に富む	やや芽重型 芽揃い良	中
	さみどり	宇治在来種 選抜 1954年	極 直立	小	新芽は大きい 淡緑色ないし黄緑色 光沢に富む	芽が直立性 芽長が長い	
晩 生	おくみどり	やぶきた× 在来種F1より 選抜育成 1974年	中間	中	やや楕円形 やぶきたより小 緑色 光沢に富む	芽数型 芽揃い良	多い
	やまと みどり	在来種より選 抜育成 1953年	やや 直立	中	楕円形 濃緑色	芽重が小 芽揃いやや不 良	多い

生理生態的特性										
萌芽期 (射やぶきた)	摘採期 (射やぶきた)	樹勢	収量性	摘採適期の 出開き度	さし木 発根性	耐寒性	炭疽病 抵抗性	輪斑病 抵抗性	クワコガ ム抵抗性	
-2口	-3～ -2口	極強	極多		良	赤枯れに強 青枯れに強 裂傷型凍害に強	弱	やや強	強	
-1口	-2口	極強	多		中	赤枯れに強	極強			
0	0	やや強	やや多	55～80%	良	赤枯れにやや強 青枯れに中 裂傷型凍害にや や強	弱	弱	弱	
	+1.5 口	強	やや多		中	赤枯れに強 青枯れに強	中	やや弱		
+3口	+3口	強	多		良	赤枯れにやや強 青枯れにやや強 裂傷型凍害にや や弱	やや弱	やや強	弱	
+10口	+8口	やや弱	やや少	55～80%	中	赤枯れに強 青枯れにやや強 裂傷型凍害に強	極強	強	中	

項目 早晩性	品種名	品質的特性		
		外 観	内 質	備 考
早 生	さやま かおり	黒み、太よれ。茎目立たない。	香気に特徴がある。 滋味は渋味が出やすい。	
やや 早生	つゆひかり	細よれする。色沢は鮮緑。	水色は明るさがあり良好。香気は爽やかで、滋味は調和がとれ温和。	
中 生	やぶきた		香気は濃厚さには欠ける。 苦渋味がなく甘味があって上級茶の性質がある。	
	さみどり	てん茶として外観の色や染まりが均一で芽えを有する。	てん茶以外の茶種についても、葉位による熟度差が小さく芽が柔らかい、適期幅が大きいため、年次変動が小さく、品質水準が高い。	てん茶、玉露及び煎茶の各茶種に対して適性あり。
晩 生	おくみどり	緑色で形がよい。茎目立ちやすい。	やぶきたと同等。 香気、滋味ともにさわやかさがあり、欠点がない。 水色は透明であるがやや薄い。	摘採遅れによる品質劣化が小さい。
	やまと みどり	やや黒味。	タンニン含量が多く、うま味・渋味がある。	

栽培適地及び導入上の注意事項	栽培上の注意事項
常習霜害地帯を避け、早場茶園に早生種として防霜施設と共に導入する。	耐寒性が強い。 やぶきたより栽培し易い。 凍霜害後の回復が極めて良い。
耐寒性が強いので、適応範囲が広い。	生育が極めて旺盛であるため、摘心や低めのせん枝を行い分枝数を確保する必要がある。 炭そ病に極めて強い。
適応範囲が広い。	定植1～2年目の寒風害に注意。寒風が強い所では防風を行う。 直立性が強く、主幹が徒長しやすいため、幼木期の仕立ては、せん枝位置を低くし、側枝の生育を促す。
冬季には乾燥低温で風を受けると枝条中間部の落葉が目立つので防風対策が必要。	幼木期の生育はやや劣るが、成園化すればかなりの多収が見込める。 枝条の伸長性が良く、手摘みしやすい。 遮光下における新芽の生育が優れている。
寒害、霜害対策品種として考える。 摘採期間延長品種として利用できる。	
寒害常発地域の導入品種として考える。 排水の良い園地や有効土層が深い園地に導入する。 砂質土壌で生育・品質が良好。	結実性が高いので注意する。 初期生育が劣る。